

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

目次

| | |
|--------------------------|---|
| 科学技術、メディア、通信および生活科学市場の動向 | 2 |
| 週間ハイライト | |
| 国際 | 3 |
| 韓国 | 3 |
| 中国 | 4 |
| 台湾 | 5 |
| シンガポール / マレーシア | 5 |
| 香港 | 5 |
| 米国 / カナダ | 5 |
| 欧州 | 7 |

この文書は情報提供を目的としており投資助言とはみなされませんし、またこの文書で言及されている会社の証券の購入や売却を推奨しているともみなされません。IRG Limited, f/k/a iReality Group Limited, 及びその関係会社はこの文書に記載されている情報の正確性や完全性についていかなる表現もいたしません。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

科学技術・メディア・通信（TMT）及び生活科学市場の動向

| ナスダック/ニューヨーク証券取引所：TMT及び生活科学関連新規公開申請 | | | | | | |
|-------------------------------------|---|--|-------------------|-----------------------|-----------------------|---------------|
| 申請日 | 発行体（取引所） | 内容 | 規模 （百万米 ドル） | 公開価格 | 2003年7月 25日の 株価 | 幹事 |
| 2003年7 月23日 | iパス | 移動ビジネスマンに 対して企業ネットワ ークへの接続を容易 にする | 98 | 14 | 18.15 | 29.6% |
| アジア株式市場：TMT及び生活科学関連新規公開株価推移 | | | | | | |
| 申請日 | 発行体（取引所） | 業務内容 | 規模 （百万米 ドル） | 公開価格 | 2003年7月 25日の 株価 | 公開価格比 騰落率% |
| 2003年 7月25日 | パワー・ロジックス (4731.KS) (コスダック) | 携帯電話等用の補充 蓄電池に使用される プロテクション・サー キット・モジュールの 開発、製造及び販売。 | 11.5 | 8,500 ウォン | 19,000 ウォン | 123.5% |
| 2003年7 月24日 | NECエレクトロニ クス (6723.JP) (東証) | 半導体等の電子部品 の研究、開発及び製 造。 | 1,201.8 | 4,200 円 | 5,600 円 | 33.3% |
| 2003年7 月23日 | AGVA (AGVA.SP) (シンガポール証 取) | メディア・ストーレ ジ製品の製造及び販 売 | 6.6 | 0.21 シンガポ ール・ドル | 0.24 シンガポ ール・ドル | 11.9% |
| 2003年7 月22日 | オンコプローブ・バ イオテック (4113.TT) (グレタイ) | 生物医薬品用単一ク ローン抗体の開発、製 造及び販売。 | 2.6 | 26 台湾ドル | 21.5 台湾ドル | - 17.3% |
| 2003年7 月21日 | MC Sロジック (6815.KS) (コスダック) | デジタル及び音声IC の設計、製造及び販 売。 | 5.3 | 7,500 ウォン | 14,200 ウォン | 89.3% |
| | | | | | | |

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

週間ハイライト

国際

ハードウェア

- IC タグの製造業者はバーコードとの競争が予想より厳しいことを知る。調査によると IC タグ導入を検討しているスーパーマーケットはない。巨額のバーコード POS 投資を回収する必要がある。
- 日本を除いたアジア太平洋での第二四半期のパソコン売上高は前年同期比で 12%増加。売上台数は 650 万台。

モバイル/無線通信

- NEC は AT&T ワイヤレス・サービスズに対し携帯電話を供給。NEC はかつて 2000 年に一度米国市場から撤退した。インターネット接続が可能なカラー画面携帯電話を供給する。
- テレフォン ABL. M. エリクソンはコンピューター・サービス業務の 5 年間の業務委託契約を IBM と締結。人員は 9 月から IBM に異動となる。

ソフトウェア

- 中国のあるグループはマイクロソフトのソフトウェアの欠陥につけこみ犠牲者のパソコンを、インターネットを通じて支配するソフトウェアを発売。

韓国

ハードウェア

- LG エレクトロニクスの第二四半期純利益は前年同期比で 24%減少し 2580 億ウォン（2 億 1900 万米ドル）。売上高は 4.5%減少し 4 兆 7000 億ウォン（40 億米ドル）だった。
- 三星電子は世界のチップ製造企業中売上高で第 2 位。1 位はインテル。三星電子のチップ売上高は上半期に前年同期比で 6%増加し 41 億米ドル。インテルの売上高は 122 億米ドルだった。

モバイル/無線通信

- 韓国情報通信省は利用者が PDA 及び携帯電話で第三者のコンテンツ供給業者のコンテンツもダウンロードできるように 9 月から規制を緩和すると発表。ST テレコムの子業を最初に認可する。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

- 三星電子はデジタル・カメラやテレビ受像機等のマルチメディア機能を持つ新型のモバイル・インテリジェンス・ターミナル (MIT) を発表。この「MITs400」にはポケット PC2002 が搭載される。
- 三星 SDI は関連会社の三星電子に対して携帯電話用の TFT-LCD を供給すると発表。

ソフトウェア

- ハアンソフトはマイクロソフトとの長期にわたる競争に勝つため中国と中東に旗艦ワード・プロセッサを輸出。中国と中東ではアメリカ製品以外の製品に対する嗜好が強い。

中国

ハードウェア

- 三星電子は中国の工場 で TFT-LCD の大量生産を開始したと発表。工場建設は昨年 10 月に開始し、634 億ウォン (5360 万米ドル) を投資している。中国の LCD 市場は年率 52% で成長している。
- スリー・コムとファウェイ・テクノロジーの合併事業は未だに中国当局の認可待ち。合併事業は 4 ヶ月前に発表された。中国で生産した製品を輸出できない可能性がある。
- 中国第三のテレビ製造会社であるスカイワース・デジタルは OECD 企業の地位を獲得するため EU と交渉中。EU では昨年 2500 万台のテレビが販売されたが中国製テレビの輸入枠は 55 万台。

インターネット

- 中国のインターネット利用者数は 6 月末現在で 6800 万人となり米国に次いで世界第二位。前年同期比で 48.5% の増加で、1997 年に比較して 12 倍となった。

モバイル/無線通信

- 中国政府による 3G (第三代携帯電話) の技術試験は今年中に終了する見込み。試験が終了すると通信各社に対して 3G 運営認可が出る体勢が整う。中国政府自体は公式日程を発表していない。
- 中国のインターネット・ポータル大手は中国携帯通信 (CMC) との業務関係維持のためポルノの供給源とみられる小規模ウェブ・サイトとの関係を絶つ。CMC はポルノ排除に動いている。

通信

- 先月における中国の固定電話回線大手 2 社の加入者は携帯電話各社の加入者より 7% 多い。2 社の加入者数は先月 470 万で累計加入者数は 2 億 3760 万。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

台湾

半導体

- 台湾半導体製造 (TSMC) の第二四半期純利益は前年同期比で 26%増加し 117 億台湾ドル (3 億 4060 万米ドル) となる。売上高は 13%増加して 499 億台湾ドル (15 億米ドル) だった。

シンガポール/マレーシア/フィリピン/インドネシア

モバイル/無線通信

- KTF はインドネシアの cdma20001x 携帯電話運営会社 PT モバイル 8 からコンサルティング契約を受注。契約金額は推定で 1300 万米ドル。450 万米ドルのネットワーク管理センターも受注した。
- シンガポール第二位の携帯電話運営会社モバイル・ワンは第一位のシンガポール・テレコム (ST) の顧客を獲得しようとしている。ST の典型的顧客像は 45 歳以上で高額の電話料金を支払う。

香港

インターネット

- 香港の J ソリューションが開発したソフトウェアであるインフォビームは記事検索及び中国語のニュース用に設計された。このソフトウェアは人工知能を利用し記事の要約を作る。

通信

- PCCW は銀行借入れを期前償還し純債務額は昨年末現在の 42 億米ドルから 22 億米ドルに減少。PCCW は 7 月前半の 10 億米ドルに次ぎ、6 億 4100 万米ドルを早期償還する。

米国/カナダ

電子商取引

- アマゾン・ドット・コム (ADC) の第二四半期純損失額は 4300 万米ドルと昨年の 9400 万米ドルから減少。売上高は前年同期比 37%増加の 11 億米ドルとウォール・ストリートの予測を上回った。

ハードウェア

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

- JDS ユニフェーズの第四決算四半期損失額は 160 万米ドルで前年同期の 10 億米ドルに比較して急減。特別費用等を除外すると損失額は前年同期の 7900 万米ドルから 2900 万米ドルに減少した。
- ルーセント・テクノロジーの第三決算四半期損失額は 2 億 9500 万米ドルで前年同期の 81 億米ドルから減少したが 13 期連続で赤字を記録。売上高は 20 億米ドルで前期比 18%減だった。

IT

- 米国企業は技術革新に注力しているので IT 分野における米国優位の情勢はここ数年変わらないと見られる。米国は景気浮揚のためには変化を、時としては企業の「創造的破壊」も推進している。

インターネット

- アメリカ・オンライン (AO) は加入者数を過大報告していた可能性あり。AO はシアーズ・ローバック等を通じて限定サービスを格安提供していたが殆ど利用されていなかった可能性がある。
- アメリカ人は迷惑メール防止用の登録に好意的と法案を準備している上院の調査で判明する。連邦通信委員会は既に迷惑セールス電話お断り登録を実行している。
- オバーチャー・サービシズの第二四半期純利益は 760 万米ドルと前年同期の 1750 万米ドルから減少。売上高は広告主付オンライン検索一覧業務の成長で 74%増加し 2 億 6530 万米ドル。
- プライスライン・ドット・コム (PDC) の第二四半期純利益は 770 万米ドルで前年同期の 630 万米ドルから 22%増加。PDC は第三及び第四四半期の利益について市場予測を上回る数字を発表した。
- イー・ベイの第二四半期純利益と売上高はともにほぼ倍増で、1 対 2 の株式分割も発表。海外での事業拡大、電子支払い業務の好調さで通年の収益見通しも上方修正した。
- ベリサインの第二四半期損失額は前年同期比で減少し 1 億 4290 万米ドル。買収関連暖簾代、無形資産の償却で 1 億 7700 万米ドルを計上した。売上高は 2 億 6530 万米ドルに減少した。

生命科学

- アムジェンの第二四半期純利益は 6 億 700 万米ドルで前年同期の 4 億 1200 万米ドルと比較して 47%増加。売上高は 72%増加して 19 億米ドルだった。通年の売上高予測も上方修正した。

メディア、娯楽、ゲーム

- リアルネットワークスの第二四半期純損失額は 960 万米ドルで前年同期の 160 万米ドルに比較して増大。売上高は 4960 万米ドルで前年同期の 4380 万米ドルに比較して増加した。
- マイクロソフトは X ボックスの魅力を増大させるため日本でチャット機能を追加。この X ボックス・ライブ・サービスは 2 ヶ月間の試用期間は無料でその後は月額 3,500 円。

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

- エレクトロニック・アーツ (EA) 第一決算四半期純利益は 1800 万米ドルでアナリストの予想を上回った。「NBA ストリート第二部」等の好調さが寄与した。売上高は 3 億 5300 万米ドルだった。

モバイル/無線通信

- モトローラはマイクロソフトのソフトウェアを搭載した携帯電話を今年発売予定。実際の製造は台湾のチメイ・コミュニケーション・システムズ。折り畳み式でアンテナは内蔵。

ソフトウェア

- マイクロソフトは競合他社に対するライセンス供与の条件を緩和し、米国政府が独占禁止法違反としている問題に対する解決の布石を打つ。連邦裁判所等の度重なる勧告に漸く重い腰を上げた。
- EDS の第二四半期純利益は法人のコンピューター・サービス需要が低下し 1 億 3800 万米ドルとなり前年同期の 3 億 1600 万米ドルから減少。売上高は 54 億米ドルから 55 億米ドルに増加した。
- オラクルは JD エドワーズを含めて敵対的買収で 12 億米ドル追加支払いをし、ピープルソフトを買収する決意を再確認。米国証券取引委員会に訂正報告書を提出した。合計金額は 75 億米ドル。
- サン・マイクロシステムズの第四四半期純利益は 1200 万米ドル。売上高は前年同期の 34 億米ドルから 13%減少し 30 億米ドル。通期では売上高が 114 億米ドルで 24 億米ドルの赤字だった。

通信

- クエスト・コミュニケーションズはスプリントとの契約間近。クエストがスプリントのネットワークを利用し無線サービスを提供する。法人向けには米国全土で個人向けには部分的に提供する。
- AT&T の第二四半期純利益は 5 億 3600 万米ドル。売上高は 8.2%減少した。配当は 27%増加し四半期毎に 23.8 セント、今年 20 億米ドルの自社株買いを行うことも発表した。
- クアルコムは 2000 年 2 月に締結した特許契約に違反するとしてテキサス・インスツルメンツを訴える。契約では特許権に抵触せず相互に無線通使用半導体を利用し販売できることになっている。
- SBC コミュニケーションズは業務の中核である地域内電話サービスが振るわず第二四半期純利益は急減。長距離電話回線と高速インターネット利用者数は増加した。
- クアルコムの第二四半期決算は携帯電話用先進チップの需要が強く昨年同期の 1380 万米ドルの赤字から 1 億 9170 万米ドルの純利益へ黒字転換。売上高は 9 億 2160 万米ドルだった。

欧州

ハードウェア

IRG テクノロジー、メディア・通信及び生活科学 週間市場調査

2003年7月20日から7月26日の週

- ジーメンスの第三決算四半期純利益は前年の7億2500万ユーロ（8億3470万米ドル）から13%減少し6億3200万ユーロ（7億2540万ユーロ）。アナリストの予想を上回った。
- ST マイクロエレクトロニクス²の第二四半期決算は価格競争と販売奨励金のため7950万米ドルの純利益に落ち込む。粗利益率は35.7%だったが第三四半期には35%に下落する見込み。

モバイル/無線通信

- エリクソンは2100万米ドルを投資しマレーシアに地域熟練技術者センターを開設。GSM から3G 技術に至る迄の携帯電話ネットワークの展示センターで技術者を含め社員は500人。

半導体

- ミュンヘンの半導体製造企業インフィネオンの第三決算四半期は1億1600万ユーロ（1億3140万米ドル）の赤字。前年同期の赤字額は7600万ユーロ（8750万米ドル）だった。